

関西若手勉強会

講演と質疑応答で活発な議論



「青色光受容タンパク質PYPと下流分子の相互作用ダイナミクス」 金穂香博士

2018年6月30日京都大学理学研究科で関西若手勉強会を開催いたしました。

参加者は11名で、専門分野は物理・化学・生物・工学など多岐にわたり、所属も京都大学・大阪市立大学・奈良先端科学技術大学から参加者が集いました。

発表は京都大学理学研究科・修士2年生の金穂香博士が「青色光受容タンパク質PYPと下流分子の相互作用ダイナミクス」と題して、タンパク質の光反応による遅いダイナミクス

について、取り組んでこられた実験研究を報告されました。特に、Rc-PYPとPBPを混合した二種混合系のたんぱく質について、過渡回折格子法による拡散係数・反応速度の検出を通じた、光反応過程について議論されました。また、回転拡散を通じたより高精度・高解像度の興味深い今後の実験計画についても報告され、それについて様々な分野の研究者から提案や指摘がなされ、有意義な議論が行われました。

「結び目の数学」 鄭仁大博士

2018年10月20日大阪大学グランフロント大阪キャンパスで関西若手勉強会を開催いたしました。

参加者は11名で、専門分野は数学・物理・化学・生物・農学・ロボット工学など多岐にわたり、所属も京都大学・近畿大学・関西大学・

立命館大学・奈良先端科学技術大学など広く参加者が集いました。

発表は近畿大学・講師の鄭仁大博士が「結び目の数学」として、トポロジー数学について、学生時代から現在まで取り組んでこられたご研究について、講演をされました。特に、



主な研究テーマである、三次元空間内の結び目トポロジーに関する写像量の定理や解明について興味深い報告がなされました。参加者

から専門分野外にも関わらず活発な質疑応答が行われ、積極的な議論がなされました。

「在日コリアン高齢者の健康を阻むものは何か」 文鐘聲博士

2018年12月15日大阪教育大学天王寺キャンパスで関西若手勉強会を開催いたしました。

参加者は約20名で、専門分野は物理・化学・生物・人文科学など多岐にわたり、所属も京都大学・大阪大学・大阪市立大学・愛媛大学・畿央大学・大阪教育大学など広く参加者が集いました。

発表は畿央大学・講師の文鐘聲博士が「在日コリアン高齢者の健康を阻むものは何か」

と題して、保健健康科学について、学生時代から現在まで取り組んでこられたご研究について、講演をされました。特に、主な研究テーマである、在日コリアン特有の衛生状況や歴史的背景を考慮した健康環境の保健科学的解明について興味深い報告がなされました。参加者から専門分野外にも関わらず活発な質疑応答が行われ、積極的な議論がなされました。





「Fluorescent Nucleobases for Studying DNA Structure,
Protein Interaction and Metal Binding」 韓知勲博士

2019年3月2日京都大学吉田キャンパスで関西若手勉強会を開催いたしました。

参加者は約10名で、専門分野は物理・化学・生物・工学など多岐にわたり、所属も京都大学・大阪大学・大阪市立大学・信州大学・奈良先端科学技術大学など広く参加者が集いました。発表は京都大学の韓知勲博士が「Fluorescent Nucleobases for Studying DNA Structure, Protein Interaction and

Metal Binding」と題して、生化学について、博士号取得まで取り組んでこられたご研究について、講演をされました。特に、主な研究テーマである、DNAやリボソーム構造内の励起移動メカニズム及びその生化学的応用について興味深い報告がなされました。参加者から専門分野外にも関わらず活発な質疑応答が行われ、積極的な議論がなされました。

【関西若手勉強会事務局】